

[様式 2]

杉並区立 中学校

令和 4 年度 卓球 部の活動方針・活動計画

令和 4 年 7 月 1 2 日

1 指導体制

| 顧問教諭等氏名 | | 外部指導者氏名 | 資格等や経験 | 頻度 |
|---------|-------|---------|--------|-------|
| 顧問 | 小関 貴司 | 坂井 美保子 | | 週 1 回 |
| 顧問 | 松尾 賢宏 | 福原 千代 | | 週 1 回 |
| 顧問 | | | | |

2 部員数 1 年生 1 5 人 2 年生 4 人 3 年生 1 4 人 合計 3 3 人
(令和 4 年 7 月現在)

| | 男 | 女 | 合計 |
|-----|-----|---|-----|
| 1 年 | 1 2 | 3 | 1 5 |
| 2 年 | 4 | 0 | 4 |
| 3 年 | 1 1 | 3 | 1 4 |
| 合計 | 2 7 | 6 | 3 3 |

3 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
ルールやマナーを守り、卓球の技術向上に努力できる生徒。礼儀を重んじ高い規範意識を持って行動できる人間性を獲得する。
- (2) 競技大会の具体的到達目標
都大会出場を目指して日々の練習に取り組む。

4 活動方針

- (1) 部活動を通して、生きていく上で必要な力を身につける。
先輩や目上の人への敬語、挨拶、気遣いや相手を思いやった行動ができるよう指導していく。また、上級学年の生徒は先輩としての自覚をもち、後輩へのサポート、気遣いができるようにする。
- (2) 卓球の楽しさを伝える。
仲間と協力し、共に活動することで励まし合い、技術の向上、また人として成長をする。そして、成長から達成感を得ることができる。運動をすることにより気持ちのよい汗をかくことができる。仲間との信頼関係を築くことができる。

5 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

6 活動計画

(1) 活動日：火、水、木、土

(2) 活動時間： 平日 16:00～18:00
休日 9:00～12:00

(3) 休養日：月、金、(土)、日

(4) 年間活動予定

| 学 期 | 月 | 内 容 |
|------|----|---------------|
| 1 学期 | 6 | 杉並区中学校卓球選手権大会 |
| | 7 | |
| | 8 | 練習試合 |
| 2 学期 | 9 | 練習試合 |
| | 10 | 練習試合 |
| | 11 | 杉並区新人大会 |
| | 12 | |
| 3 学期 | 1 | 練習試合 |
| | 2 | 杉並区卓球研修大会 |
| | 3 | 練習試合 |

(5) 参加予定大会

杉並区卓球大会、新人卓球大会、卓球研修大会